

壁で囲った 家族だけの外部空間

実家の敷地の一部を分割しての家づくり。敷地奥にある母屋へのルートが家の両脇に必要とされたため、カーポートに挟まれた中央に家族4人のための約30坪の家を計画した。

1階に個室と水廻りを置き、2階にLDKを配したオーソドックスな間取りである。プライバシーの守られた外部テラスを2階LDKと一体化するように配置し、小さなLDKに広がり、明るさをもたらしている。



2階LDKと内に取り込んだテラス(撮影:平井広行)

1 開く間取りとカタチ!

2 こんな間取りに暮らしたい

3 要望をかなえる間取り

風が抜ける壁

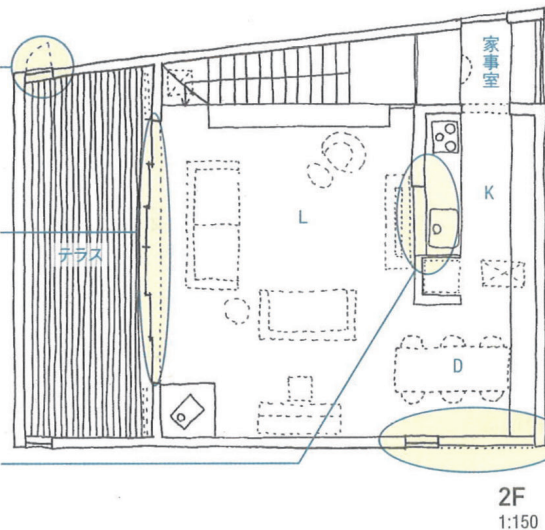
閉まっていると外壁と同じにしか見えないが、必要に応じて開放して風を抜く。対角線上に風が抜けるよう、開口部を配置している

消える建具

外部テラスと室内を隔てる建具は、すべて壁内に引き込めるようになっており、全開するとテラスがLDKと一体化して開放感あふれる大きな空間となる

様子を伝える窓

キッチンは、LDと切り離し、流し廻りを見せない。通路やリビング側に開けた窓から、家族の様子は伝わる



機能をしぼる

景色が楽しめる場所を選んで大きな窓をつくる。ガラス部分ははめ殺しとし、採光と眺望の機能にしぼり、通風は脇の扉の開閉で行う



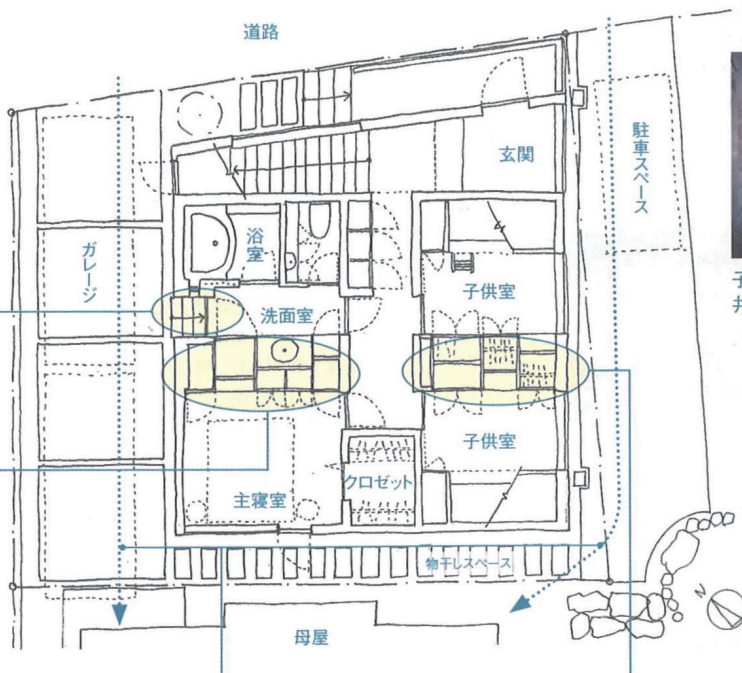
道路側外観(撮影:平井広行)

勝手口の動線

車を降りて、すぐに室内に入る出入り口であり、洗濯物を干しに物干スペースへ向かう出入り口にもなる

収納の工夫

洗面室廻りと主寝室側の収納を背中合わせにまとめる。無駄のないように奥行きを考え表裏の組合せにも注意



子供室(撮影:平井広行)

道路から母屋へのルート

母屋への通路は、車3台分のカーポートと自転車置き場を兼ねている。親族が通る通路側の開口部は、より慎重に検討している

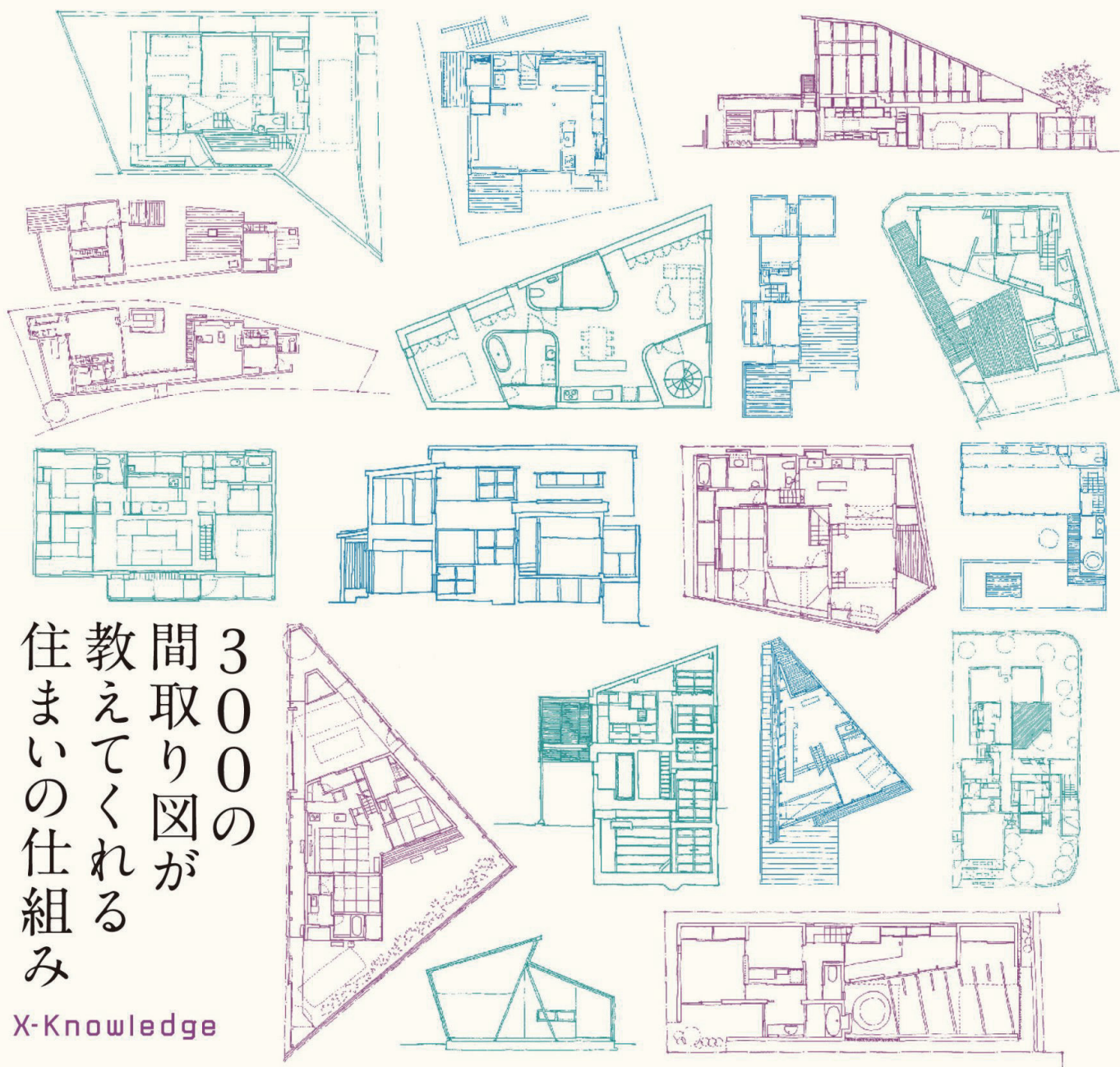
二つの部屋に十分な収納を

隣り合う二つの子供室は、境の部分に収納を集めた。両側から効率よく使い、また少しでも収納量を増えるよう、工夫している

敷地面積/105.99㎡ 延床面積/105.04㎡
設計/矢板建築設計研究所
名称/ふじみ野の家

最高にステキな [間取り]の図鑑

編著=ザ・ハウス



300の
間取り図が
教えてくれる
住まいの仕組み

X-Knowledge